

無料

TAKE
FREE

HOPE
ほーぷ

太田記念病院だより

vol.66

2022.8

太田市消防本部より依頼を受け連携し運用しています

特集

「ドクターカー」について



これまでの振り返りと
今後のあるべき姿

かかりつけ医・登録医ご紹介
おおた泌尿器科・内科
クリニック

診療科紹介 皮膚科



今日から減塩生活
始めてみませんか？

～いつもの食事にちょっとした工夫を～

●理念

思いやりの心で行う医療

●基本方針

- 1.患者様の人格と権利を尊重し、何よりも安全を重視した医療を提供します。
- 2.常に医療の質の向上を目指し、救急医療の充実に向けて地域の医療に貢献します。
- 3.病病・病診連携を推進し、患者様がより良い医療を受けられるように努力いたします。
- 4.健康保険組合の一員として、地域住民の保健や福祉にも貢献し、信頼関係を深めるように努めます。

●患者様の権利

- 1.安全な質の高い医療を平等に受ける権利
患者様はいかなる宗教・国籍・社会的地位などにかかわらず、安全で良質な医療をどなたでも平等に受けることができます。
- 2.個人の尊厳とプライバシーが保たれる権利
患者様は人間として尊厳を保たれ、個人の情報が堅く守られながら医療を受けることができます。
- 3.個人の医療情報・開示が得られる権利
患者様は病名・治療・検査等の内容についてわかりやすい言葉で納得のいく説明を受け、診療の記録についての情報開示を受けることができます。
- 4.医療行為の選択を自ら決定する権利
患者様は十分な説明を受けたうえで、ご自分の意思により治療・検査・その他の医療行為を選択・拒否することができます。
- 5.医療行為について苦情や意見を述べる権利
患者様は病院に対しての苦情や意見を自由に述べるすることができます。また、それにより患者様が不利益を受けることは一切ありません。

●臨床研修の理念

医師としての人格を涵養し、将来専門性とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な臨床能力(態度・技能・知識)を身につける。

●臨床研修の基本方針

1. 思いやりの心を持って患者さまおよびその家族に向き合い、人間として信頼される人格・素養を身につける。
2. チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種と協調して診療することができるコミュニケーション能力を身につける。
3. プライマリ・ケアおよび救急医療に必要な基本的診療能力(態度・知識・技能)を習得する。
4. 安全で安心な医療を行うため、医療安全管理の方策を理解し習得する。
5. 地域医療の現場を経験し、その役割を理解し実践できる医師を目指す。



太田記念病院 院長補佐

すなが しゅうじ

須永修司

これまでの振り返りと今後のあるべき姿

本院のスタートは昭和13年にいわゆる企業病院として開設された『中島飛行機太田製作所付属太田病院』です。

一旦、昭和20年の終戦とともに病院は閉鎖となりましたが、各方面からの要請を受け、また戦争で傷ついた地域の皆様のために閉鎖の翌年には病院を再開させています。それは医師3名、職員30数名での今から考えれば小さな再開でした。当時は終戦直後のことでもあり、医薬品どころか包帯さえも満足にない状況でしたが“地域への医療奉仕”を合言葉に奮闘を続けたと伝えられています。当院の1階に常設しているギャラリーで当時の様子を垣間見ることができますが、この時代の先人たちの本当の苦勞は、おそらく今の私たちには想像をすることさえできないと思います。

その後、地域医療の充実のために業容の拡大や職員の増加を図り、平成24年にはお世話になった八幡町から現在の大島町への移転を実現させました。今からちょうど10年前です。この地域で当院が80年以上も存続することができたことは、職員の方々の地域貢献に向けた

強い志に加え、何よりも地域住民の皆様、医療関係者の皆様、自治体の皆様に支えていただいた結果であることに議論の余地はありません。

今後、この地域の医療はどうあるべきか、どうすべきかを“NEXT10年”そして20年さらにはその先を見据えて策を講じていくことは当院の大きな責務です。しかしながらそれを辛だけの仕事にはしたくありません。職員はひとり残らず全員で地域の皆様と連携を深めて“明るく元気よく”歩を進めていければと思います。

また地域の皆様におかれましては地域医療を支えていけるように努力を積み重ねてまいりますので引き続きご支援とご協力をお願い申し上げます。

【追記】

SUBARUチーム内には『硬式野球部』と『陸上競技部』があり、当院とは別の切り口で地域貢献に努めています。特に今年のニューイヤー駅伝での準優勝では地域を大きく盛り上げていただきました。引き続き応援をお願いいたします。



外国人技能実習生 受け入れのお知らせ

当院では、2022年5月よりインドネシアからの外国人技能実習生を1名受け入れています。

外国人技能実習制度は、開発途上国等の経済発展を図るため、海外からの外国人技能実習生を受け入れ、日本で学んだ技能・技術・知識を習得し、技術移転を目的とした国際協力のための制度です。

当院では、外国人技能実習制度の取組みに



賛同し、今回の受け入れにより、開発途上国等の経済発展に伴うものづくりのための「人づくり」に寄与していけるものと考えております。

介護技術とともに日本語や文化を身に付けることは大変だとは思いますが、職員一同、介護について学べるようサポートして参ります。

患者様並びにご家族の皆様には、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

新任医師の ご紹介

新しく着任
いたしました。



産婦人科
いしばし ともこ
石橋 智子
R4年6月1日入職



産婦人科
あきた けいすけ
秋田 啓介
R4年7月1日入職

院内ボランティア募集のご案内

当院では患者様へのサービス向上のため、院内ボランティアを募集しております。業務内容は受付・精算機周辺での患者様のご案内などが中心となっております。



活動日時：病院休診日を除く平日・土曜日

(8:30～12:00までの間で2時間程度)

※活動日・活動日数等はご希望に応じて調整可能です

年齢：18歳～70歳くらいまでの方(高校生不可)

連絡先：太田記念病院 総務課

市民公開講座 web配信中 (期間限定)

現在、当院のHP上では、過去の市民公開講座の動画をweb配信しています。当院の医師や認定看護師等による、皆様の健康に関する情報が満載です。是非、ご覧ください。



WEB配信

申込不要

無料配信



太田市平日夜間急病診療所はこちら

TEL.0276-60-3099

太田市保健センター1階 太田市飯田町818

診療日：月・火・水・木・金・土 ※日・祝日・年末年始は休診となります

受付時間：午後6時45分～午後9時45分

DOCTOR CAR Since 2021



太田市消防本部より依頼を受け連携し運用しています 「ドクターカー」について

ドクターヘリと並び注目されるドクターカー。
当院でも2021年11月から太田市消防本部より
依頼を受け連携し運用しています。
救急車との運用の違いや、運用方法、成り立ちなど
についての解説をします。



救急科医師
つぼうち ようへい
坪内 陽平



救急看護認定看護師
ふじい かおり
藤井 香織

当院は東毛地域で唯一の救命救急センターとして、2012年に開設されました。

その後、三次救急医療機関、救命救急センターとして、「救急車を断らない。」をモットーに、積極的に救急車、救急患者の受け入れ、ドクターヘリの受け入れを行ってきました。

皆さんは「ドクターヘリ」をご存知だと思います。ドラマ『コードブルー』で有名になりました。では、「ドクターカー」についてはいかがでしょうか？



救急現場に医療に精通したチームが急行することの意味

重症患者において、その予後に大きく影響する因子の1つに時間があります。救急医療は時間との戦いであり、時と場所を選ばず発生する重症傷病者に対して、いかに迅速に、適切な初期治療を開始できるかが予後を大きく左右することとなります。

現場活動型救急医療と位置付けられるドクターカーやドクターヘリは、**傷病者発生現場へ救急医療に精通した医療チームが出向くことにより、傷病者発生から初期治療までの時間を大幅に短縮し、救急患者の良好な転帰の獲得を目指すシステム**です。



ドクターカーシステムの歴史

欧米における病院前救急診療は、このドクターカーシステムと、ドクターヘリをうまく取り入れて相互に効率よく救急医療が行われており、特にドイツでは全土で15分以内に治療が開始されるように、半径50km圏内にヘリコプターの基地を設置して、病院前救急医療を行っており、1970年には交通事故死者が2万人を超えていたものが、この救急ヘリコプターシステム導入により、15年後には半減したといわれています。

我が国では1979年に兵庫県立西宮病院と西宮市消防本部との共同運用で始まったドクターカーを皮切りに、1980年代後半から地域や病院単位でのドクターカー的運用が開始され、1991年に厚生労働事業の一環となって以降、大きな拡がりを見せています。

1995年に阪神・淡路大震災の教訓から発した**災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team : DMAT)**の整備拡大に伴い、局所災害のみならず、東日本大震災や熊本地震などの広域災害においてもドクターカーやドクターヘリシステムの

運用体制構築がなされつつあります。

当院では2021年11月より太田市からの要請を受け、太田市消防本部と連携してドクターカーの運用を開始しました。出動範囲は太田地域全域であり、救急科の医師と看護師1名ずつと太田市消防本部の職員3名が救急車に乗車して出動しています。なお、ドクターカーには救急科の医師7名と看護師4名が交代で乗務しています。



ドクターカーの運用について

ドクターカーは、市民の皆様からの要請は受け付けておらず、消防からの要請により、出動しています。ドクターカーの出動要請は消防本部から行われますが、迅速な要請のためには119番通報時点で、通信指令員にドクターカー要請の適否を判断してもらわなければなりません。そのため、迅速なドクターカー出動要請を実施できるように、キーワード方式によるドクターカー要請システムを取り入れています。結果的に軽症であってもかまわないというオーバーリアージ*を許容することで積極的な出動を可能としています。

>>ドクターカー出動過程

STEP
01

皆様から
119へ通報



STEP
02

消防本部での
要請基準確認



STEP
03

ドクターカー
の出動要請





消防本部が119番通報を受けて、以下の要請基準に該当するかを確認し、ドクターカー出動の判断を行っています。

- ①生命の危険に迫るもの
心臓停止症例やそれに準ずるもの
- ②重症傷病者で搬送までに長時間を要するもの
(交通事故などで搬出困難の時など)
- ③脳卒中や心筋梗塞、大動脈解離、アナフィラキシー、痙攣発作など、治療開始までの迅速な初期治療が必要なもの
- ④災害や、交通事故などで多数傷病者が発生した時
- ⑤その他、総合的に判断し、要請が必要と思われた時

前述したキーワードとしては、

- ・急に倒れた、会話ができない、物音を聞いて倒れていた
- ・呼びかけに開眼しない
- ・突然の胸部痛、背部痛を訴える
- ・突然の激しい頭痛を訴える
- ・苦しくて会話ができない
- ・冷や汗をかいている、顔色不良
- ・大量の吐血や下血
- ・窒息
- ・痙攣の持続
- ・重症外傷(重症熱傷、四肢切断、胸腹部刺創、高所転落、車外放出、跳ね飛ばされた、高度な車両変形、身体が挟まれた、巻き込まれた、胸部打撲による呼吸困難など)

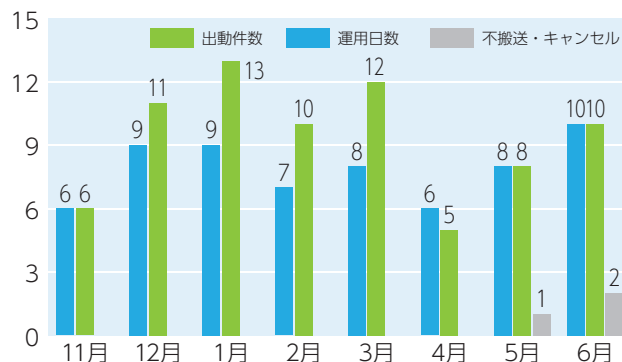
などを取り決めとして、救急入電時、上記のキーワードがあれば、ドクターカー出動を積極的に考慮しています。

ドクターカーの運用実績

2021年11月の運用開始から2022年6月までの7カ月間のうち、延べ63日間の運用を行いました。出動件数は75件で、1日の平均出動件数は1、2件程度となっております。疾患区分としては、心臓停止、脳卒中、心筋梗塞、心不全、痙攣、重症外傷などで、そのうちの80%以上が入院となっております。

現在は週に2、3回程度、午前9時00分から午後5時15分の運用となっています。将来的には運用日、運用時間の拡大を検討しています。

ドクターカーの運用実績



ドクターカーで対応したすべての症例については、2か月に1回の頻度で、太田市消防本部と共に検証会を開催して振り返りを行っています。ドクターカーの目的である救命率の向上と、後遺症の軽減につながるよう話し合いを重ね、連携の強化を行っています。

ドッキングについて

患者様の状態によっては、救急車内だけではなく、患者様のご自宅や、施設内、屋外で診療を行う場合があります。

また、病院に向かう途中の救急車とドクターカーが落ち合うことを「ドッキング」と呼び、救急車とドクターカーが、安全にドッキングするために、ある程度広くお互いに分かりやすい場所—例えば、消防署、コンビニ、スーパーの駐車場やガソリンスタンド、公園や行政センターなどの主に公共施設の駐車場などでドッキングする場合があります。地域の皆様には、ご迷惑をおかけしてしまうことが予想されますが、ご協力をいただければ幸いです。

今後も太田記念病院スタッフ一同、太田地域の医療に貢献できるよう、日々精進していきますので、今後ともよろしくお願いたします。

用語の解説

※オーバートリアージ
トリアージをする際に適切な基準よりも高い判断をすること。例として本当は黄・緑なのに赤タグと判断すること。

●栄養部通信

食事を変えてカラダ改善

今日から減塩生活 始めてみませんか？

～いつもの食事にちょっとした工夫を～

 管理栄養士
いしやま ともみ
石山 友美

国民健康・栄養調査によると、約70%の人が厚生労働省の定める目標量よりも多く食塩を摂取しています。食塩の摂り過ぎは、高血圧をはじめとした生活習慣病に深く関わってきますので、注意が必要です。

一日あたりの食塩摂取量(18歳以上)

性別	高血圧等の重症化予防のための量 ^{※1}	生活習慣病予防のための目標量 ^{※1}	平均摂取量 ^{※2}
男性	6g未満	7.5g未満	10.9g
女性		6.5g未満	9.3g

※1 厚生労働省:日本人の食事摂取基準(2020年版)

※2 令和元年国民健康・栄養調査

 男性で3.4g
女性で2.8g
オーバー

《減塩調理の工夫》

(1) 調味料の使用量を減らし、薄味をカバーしてくれるアイテムをプラス!

- ① **だし** かつお節・昆布・干し椎茸など
※市販の顆粒だしは塩分が多いため、食塩無添加のものを選ぶ
- ② **酢・柑橘類** 酢・レモン・ゆず・すだちなど
- ③ **香辛料** 唐辛子、わさび、からし、こしょう、カレー粉、ラー油など
- ④ **香味野菜** にんにく、しょうが、青じそ、ねぎ、みょうが、パセリなど
- ⑤ **香ばしい食品** ごま、海苔、落花生、くるみなど

(2) 食材の表面に味を付ける

表面に味を付けると、舌が直接調味料に触れるため、少ない塩分でも味を感じやすくなります。しみこませないことがポイントです!(調理例)

- ・煮物→だしだけで煮て火を通し、最後に醤油を全体に絡めるように加える。
- ・和え物→時間がたつと水が出るため、食べる直前に調味料で和える。

(3) 塩分の少ない調味料を利用する

調味料	マヨネーズ	ケチャップ	中濃ソース	ポン酢	味噌	醤油
大さじ1杯あたりの塩分量	0.3g	0.5g	1.0g	1.3g	2.2g	2.6g

塩分少 → 多



白身魚の胡麻マヨソース(塩分0.9g)



おすすめPoint!

魚の表面にソースをのせることで、味を感じやすくする工夫がされています。また、低塩の調味料であるマヨネーズや、香りのある胡麻を使用することで塩分が少なくても美味しく食べられます。

◆材料(1人分)◆

タラなど白身魚	1切れ	パセリ缶	適量
塩	少々	付け合わせの野菜	適量
★マヨネーズ	大さじ1		
★すりごま	小さじ1		
★味噌	小さじ1/3杯		
★醤油	小さじ1/6杯		

◆作り方◆

- ① 魚に塩を少々ふって下味を付ける。
- ② ★の材料を混ぜ合わせ「胡麻マヨソース」を作る。
- ③ グリルで魚を焼き、7～8割程度焼けたところで表面に「胡麻マヨソース」を塗り、香ばしさが出るまで焼く。
ポイント: フライパンでの調理も可ですが、グリルの方が胡麻マヨソースが香ばしくなります。
- ④ 仕上げにお好みでパセリ缶をふり、付け合わせに野菜を添えて完成!

PICKUP CLINIC
file.39



かかりつけ医・登録医ご紹介
**おおた泌尿器科・
内科クリニック**
すぎやま けん
院長 杉山 健



診療科:泌尿器科・内科
住所:太田市東矢島78
電話:0276-38-8833
診療時間:
(午前) 9:00~12:30
(午後) 15:00~18:00
休診:木曜・土曜午後・日曜・祝日

※診療時間の変更・休診の場合も
ございますので、受診の際は直接
お問合せをお願い致します。

患者様の気持ちを配慮する
言葉掛けや雰囲気づくりを心掛けています。

●開院のきっかけ: 以前15年間ほど、太田記念病院に勤めていた時があります。当時の太田記念病院の診療体制の変革に伴い、より多くの泌尿器科の患者様に接したいという気持ちが強くなり、自分の診療所を持ちたいと考えたことがきっかけです。

●特徴: 泌尿器科のほぼ全ての診療に対応することが可能です。当院は内視鏡、エコー、レントゲン等、外来診療に必要な検査を実施することができます。

●心がけていること: 患者様の気持ちを配慮するよう心掛けております。診療科の特徴からかもしれませんが、恥ずかしいと思うようなことを患者様がそう思わなくてもすむような環境づくりをしています。例えば、尿漏れの心配など言いづらい内容ですが、特殊なケースではないですよという、言葉掛けや雰囲気づくりを行っています。

手術、診療、入院等、他の医療機関との連携が必要だと判断すれば、躊躇すること

なく紹介するようしております。

また、患者様をなるべく待たせないように、スタッフ一同心がけております。

●今後の目標: 私自身も病院勤務をしていたので、病院と開業医との仕事の振り分けは重々承知しております。

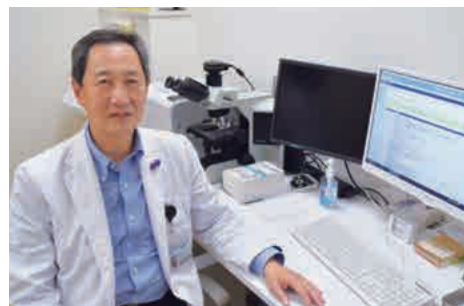
病院の負担にもならないよう、当院は病院の外来診療の拡張した立ち位置で診療をさせて頂き、一人でも多くの患者様を見たいと考えております。



診療科紹介
皮膚科

ねぎし いずみ
根岸 泉

皮膚科全般、なんでも診るのがモットーです



当院の皮膚科外来でよくみられる病気は、湿疹・皮膚炎、白癬(水虫)、じんま疹です。これらでだいたい全体の半数を占めます。続いて、円形脱毛症、薬疹、尋常性乾癬、帯状疱疹、蜂窩織炎(皮膚の細菌感染症)、自己免疫性水疱症、膠原病、褥瘡(床ずれ)、熱傷、小外傷などです。内服・外用療法が中心ですが、粉瘤や母斑(ほくろ)、脂肪腫などの良性腫瘍や小さな皮膚癌、陥入爪(巻き爪)などの日帰り手術も行っています。悪性黒色腫、有棘細胞癌などの皮膚癌は、当院では十分な対応ができませんので適切な施設(群馬大学病院など)に紹介しております。

多くの方は皮膚の病気はすぐに治るものと思っていちゃいます。内臓の病気と同じように皮膚病の中には治療に長い時間がかかるものも少なくありません。自分の症状や

病気についてインターネットで検索することが今や当然の世の中になりました。しかし、それらの情報は玉石混淆です。皮膚科専門医として正確な医学知識と適切な診療を提供したいと思っております。



●受診される患者様へ● 重要なお知らせ

当院は入院治療・救急医療・手術等重症の方を対象とする24時間体制で診療を行なう急性期の病院です。厚生労働省の方針に基づき初期治療は地域の医院・診療所等で高度専門医療は病院で行なうという医療機能分担の推進を行なっております。

2022年10月1日より金額が改定となります

厚生労働省により制定された制度に基づき2018年4月より以下の取り組みを行なっていますが、この度厚生労働省の告示に伴ない2022年10月1日より下記の通り改定となります。

●初診時選定療養費

初診時に他医療機関からの紹介状を持参されない方

従来 5,500円(税込)

改定後は 7,700円(税込)

●再診時選定療養費

当院から他の医療機関やかかりつけ医へご紹介後に引き続き当院を希望された再診の方・患者様の任意により1ヶ月以上治療を中断された方

従来 2,750円(税込)

改定後は 3,300円(税込)

●時間外特別徴収金

夜間・休日に入院の必要がない軽症で受診された方

従来 6,600円(税込)

改定後は 8,800円(税込)

今後も地域の医療機関と連携を行ない安心・安全な医療を継続して提供できるよう努めますので皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

※200床以上の病院は選定療養費の徴収が義務化されております。詳細は厚生労働省のホームページにてご確認ください。

令和5年(2023年)4月より 土曜隔週休診

(従来の休診日に加え、第2・第4土曜日)とさせていただきます

これまで毎週土曜日外来診療をさせていただいておりましたが、令和5年(2023年)4月より土曜日隔週休診(第2・第4土曜日)とさせていただきますこととなりました。そのため開始までの1年間に皆様への周知徹底期間としています。尚、救急医療につきましては従前どおり休診日に関係なく24時間体制で対応させていただきます。

これは「働き方改革関連法」施行に伴い、職員の働き方見直しの一環で、より安全で質の高い医療を継続して患者さまに提供していくためのものです。

曜日	変更前 2023年3月末まで	変更後 2023年4月以降
土曜日 第1・3・5週	受付時間 8:30~11:00	受付時間 8:30~11:00
休診 土曜日 第2・4週	受付時間 8:30~11:00	●一般外来 休診 ●人間ドック・健康診断 休診

地域の医療機関や患者さま、関係者の皆さまには大変ご迷惑をおかけすることになりますが、当院といたしましては今後も救命救急センター・第二種感染症指定医療機関等といった使命・役割を着実に果たし、病病・病診連携を推進し地域医療のより一層の充実に努めて参ります。また地域の皆さまと共に成長し信頼される病院づくりを目指して参りますので、何卒ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

SUBARU健康保険組合
太田記念病院

TEL. 0276-55-2200(代)

〒373-8585
群馬県太田市大島町455番地1

電話番号をよくお確かめのうえ、お掛け間違いのないようお願い申し上げます。

太田記念 |

検索

ホームページアドレス
https://www.ota-hosp.or.jp



太田記念 FBI |

検索

フェイスブックアドレス
https://www.facebook.com/otahosp



@ota_memorial_hospital |

検索

インスタグラムアドレス
https://www.instagram.com/ota_memorial_hospital/

